

高伸物流株式会社

所在地 野木町野木 117-1  
 従業員数 35名 (平成28年7月1日現在)  
 事業所 本社(野木)・群馬営業所  
 主な事業内容

当社は今年4月で創業丸5年とまだ非常に若い会社です。お客様や協力会社様に恵まれ、現在は大型車10台・4t車10台・2t車10台、合計30台で関東一円・東北・中京方面の配送を担っております。

配送品目はフィルムや樹脂の原料・材料をメインとし、栃木・群馬・茨城の共同配送を主体としておりこれを当社のブランドとしております。共同配送のメリットとしましては、貸切便で小ロットの荷物を運ぶと輸送コストがかかりますが、当社は荷物を積み合わせすることでお客様へコスト削減を提案させて頂くと共に、創業以来共同配送で培ってきた高い輸送品質を提供させて頂いております。

地域密着・地域貢献を常に考え、今後も野木町と共に大きな成長を遂げるよう邁進致します。



《社員のひとこと》

公道を使わせて頂いての仕事に加え当社の特徴あるロゴマークが人目を引く為、運転には特に気を遣いますが、そのことが安全運転にも繋がっています。会社と家族の為にこれからもマナー良い安全運転を心がけます。  
 (大型ドライバー 守島昌宏)

広報連絡委員レポート No.364

ホタルに想いを寄せて



広報連絡委員  
 海老沼 記子

去る6月11・12日に「第5回ホタル祭り」が開催されました。NHKの取材もあり、2800人を超える人たちが300匹の幻想的なホタルの光に魅了されました。

この日に先駆け5月30日、野木生まれのホタルに会いたくて水辺の楽校へ行ってきました。日もとっぷりと暮れた夜の8時頃、それでも暗闇に慣れた目には清水谷の窪みがぼんやり浮かび上がり、木道の上に立つところ、光ってる!」胸が熱くなりました。10匹ほど竹やぶや木々の間にやさしく光りながら飛んでいました。今年5月23日が最初に飛んだ日で、その後最高20匹ほど確認されたそうです。

このホタルの舞いには水辺の楽校応援倶楽部の長い間の努力があります。水路を掘り、幼虫がサナギになるための畔を作り、日陰を作る木を植え、幼虫の工

サになるカワニナを放し、幼虫の天敵のザリガニを子供たちに捕ってもらうなど、毎月2回の奉仕活動に取り組んでいます。今では町内外から50名ほど協力者がいるそうです。

私が感動した取り組みは、野木小、友沼小、佐川野小の生徒が昨年の11月から今年の放虫までエサやりや水温管理をして大切に育ててくれたことです。野木小の校長先生のお話では、「自分たちが育てた幼虫がホタルになって飛ぶのが楽しみだ」と目を輝かせていたとのことでした。

そんな子どもたちの体験がいつか芽を吹き、自然環境を考えることやホタルを育てる活動に参加するきっかけになればと思います。

応援倶楽部の地道な活動と子どもたちの取り組みや地元の人たちの応援で野木生まれのホタルが乱舞し、人々に感動を与え、ホタルの里として盛り上がることを期待しています。

